



初心者
歓迎

参加費
無料

ハローワーク 製造職の しごと体験

滋賀県は製造業が盛んなのに、人材が不足しています。
製造業への就職をポリテクセンター滋賀がサポートします。

日時 令和6年12月13日(金) 13時～16時30分

場所 ポリテクセンター滋賀 大津市光が丘町3-13

持ち物 作業服(ジーンズ可)、運動靴、帽子(つば付き)
※作業服上着はお貸しできます

定員 24名(先着順)

内容 ◆テクノインストラクター(指導員)による**安全教育**
◆**ものづくり**に関連する職種の**しごと体験**

子どもの頃、好きだった「ものづくり」の仕事に就いてみたいと思いませんか？
求人票に記載の「溶接工」「板金工」「機械オペレーター」「NC機械オペレーター」ってどんな仕事…と思ったことはありませんか？
製造業にチャレンジしてみたいけど、技術がないから無理だと諦めていませんか？

3月開講

機械加工NC技術科

就職率
91.7%

溶接施工科

就職率
100%

募集期間:令和6年12月25日(水)～令和7年1月29日(水)

訓練期間:令和7年 3月 3日(月)～令和7年8月28日(木)

お申し込み

ポリテクセンター滋賀までお電話ください
☎ 077-537-1179(訓練課)

※ しごと体験に参加されると、失業認定の際の
就職活動実績としてカウントされます。

“あなたのしごと探しに役立つスキルを”

【主催】 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
滋賀支部滋賀職業能力開発促進センター
ポリテクセンター滋賀
〒520-0856 大津市光が丘町3-13

【共催】 ハローワーク大津



当センターホームページ

製造業ってどんな仕事？
転職するには
どうしたらいい？

修了生の活躍事例 (機械加工NC技術科)

株式会社ホリゾン

古川 友之さん

令和5年2月修了

“明確な目標を決めてから訓練を受講しました”

前職は、エアコンの電装部品等の組立やはんだ付けの作業を行っていました。退職後、ハローワークに貼り出されていたチラシを見て、職業訓練に興味を持ちました。

分野は異なるものの製造業で働いていた経験と昔から「ものが出来上がっていく過程」に興味があったことから施設見学会を経て、“機械加工NC技術科”を受講することに決めました。職業訓練を受講するに当たり、明確な目標を二つ決めました。一つ目は「訓練期間中に必ず就職を決める」、二つ目が「技能検定 機械加工に合格する」です。明確な目標を持って、職業訓練を受講することで、有意義な6か月間を過ごすことができました。

就職は指名求人がきっかけ

毎日、1時間以上かけて、ポリテクセンター滋賀に通っていたため、大変なこともありましたが、訓練ではクラスメイトと切磋琢磨しながらも、自分の手でものを作る楽しさを改めて感じる事ができました。

就職は、ポリテクセンターでやっている“指名求人”という制度で決まりました。以前から知っている会社であったことと、職業訓練で学んできたことを活かして働けそうだと

思い、入社を決めました。技能検定も合格し、受講前の目標は二つとも達成することができました。

仕事を任せてもらえるようになるのが目標

今は、まだ出来ることが限られていますが、色々な機械を使いこなせるように、またメンテナンスもできるようになりたいと思っています。職業訓練の受講を悩んでいる方には、「新しいことにチャレンジすることは怖いですが、やってみると楽しいこともたくさんあります。目標を持つことで、達成する嬉しさも感じる事ができると思います。ものづくりの仕事に興味があれば、訓練を受講してみたい」とお伝えしたいです。

古川 友之さんの業務

NC旋盤を使用し、社内で製造している製品の様々な部品を作っています。加工をするだけでなく、プログラムの作成も任せてもらえるなど、できることも少しずつ増えてきました。入社後、マイクロメータの使い方や社内で使われている用語などポリテクセンターで訓練を受講したおかげで、説明がすぐに理解できるなど役に立っていることがたくさんあります。



機械加工NC技術科 YouTube

修了生の活躍事例 (溶接施工科)

ナンカイ滋賀株式会社

傍田 篤史さん

令和6年2月修了

“自分の手でものづくりを行いたい!!”

設計から組立まで何でもできる人材を目指して

前職は、造船業の生産管理部門で、設計(2次元,3次元CAD)業務に携わっていました。長年、製造業に携わってきたものの、実際に現場でのものづくりの経験がないため、自分の手でものづくりをしたいと思い転職を考えるようになりました。

前職で溶接作業を見ていたこともあり、自分も溶接をしてみたいと思っていました。ハローワークで溶接について一から学べる場所を調べてみたところ、ポリテクセンター滋賀で学べる事が分かり、受講することにしました。

【溶接の奥深さ】が得られる充実した訓練

溶接作業自体は未経験でしたので、実際に訓練で溶接作業を行ってみると身体の動かし方、電流・電圧の調整方法、溶接後の溶接外観など一つ一つが深い知識と技量が必要になる事が分かりました。特に溶接欠陥がない溶接が難しく、先生方からのアドバイスをもらいつつ自分なりに工夫して訓練に臨みました。

訓練中は、一つ一つの作業を大切にしながら緊張感を持って溶接をしました。休憩時間は、十数人のクラスメイトと溶接について意見交換したり切磋琢磨できる環境で勉強でき充実した訓練生活だったと思います。

今後、受講する方へのメッセージ

職業訓練では色々なことを学べます。訓練受講中、この知識がどこで役に立つのかなど不安に思っていた時期もありましたが、実際に仕事をしてみると先生方から教えていただいた知識が非常に役に立っている事が分かりました。

もし、技能・技術を身につけたいのであれば、まずはポリテクセンター滋賀の施設見学会に参加してみたいはかがですか。

傍田 篤史さんの業務

現在、前職の経験も生かして図面を作成する設計作業と溶接して製品を作る溶接作業の2つの業務を担当しています。溶接作業では半自動アーク溶接作業を担当しています。製品としては、住宅で用いられる梁の溶接をしており板厚6mm~22mmの板材を溶接しています。これからの目標は、設計・溶接だけではなく組立や機器整備など何でもできる人材になりたいです。



溶接施工科 YouTube